

2016

沖縄総合事務局十大ニュース



平成 28 年 12 月

内閣府 沖縄総合事務局

★沖縄スポーツ産業クラスター形成の推進

沖縄総合事務局では、沖縄の様々な特色ある地域資源を融合させた、国際的な沖縄スポーツ産業クラスター形成に向け、中長期的な戦略の検討等に取り組んでいます。具体的には、スポーツ産業イノベーションフォーラム（2月）、沖縄スポーツ産業クラスター検討会議（10月）等を開催し、有識者との議論を通じて、国内外から沖縄に誘引力を高めるための核づくりなどの検討を行っています。



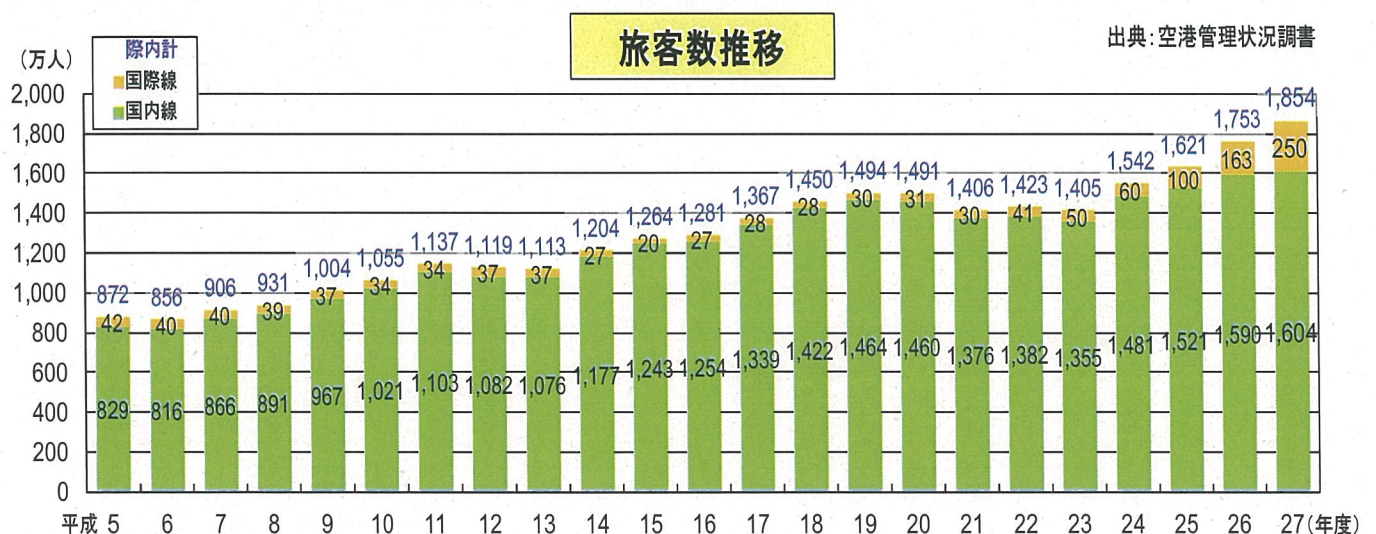
スポーツ産業イノベーションフォーラム in うるま市
(平成28年2月28日)



第1回 沖縄スポーツ産業クラスター検討会議
(平成28年10月1日)

★那覇空港 平成27年度の旅客数が過去最高に！

平成27年度の旅客数が1,854万人と過去最高を記録しました。特に、国際線は、4年間で約5倍の250万人と大幅に伸びました。



需要の増加に対応するため、引き続き、滑走路増設事業や国際線ターミナル地域再編事業に取り組んでいきます。

★TEC-FORCE隊員を熊本へ派遣

熊本地震による二次災害防止のため、4月から5月にかけて緊急災害対策派遣隊（TEC - FORCE）を派遣しました。全国の隊員のべ7,238人のうち当局からは、延べ138人が活動しました。現地では、土砂災害危険箇所調査43箇所、被災建築物応急危険度判定57件の他、町道橋梁、町営グラウンドなどの被災状況調査を行い、首長から感謝の言葉をいただきました。



被災状況調査班（砂防）の様子
（土砂災害危険箇所点検）



被災状況調査班（建築物判定）の様子
（応急危険度判定）

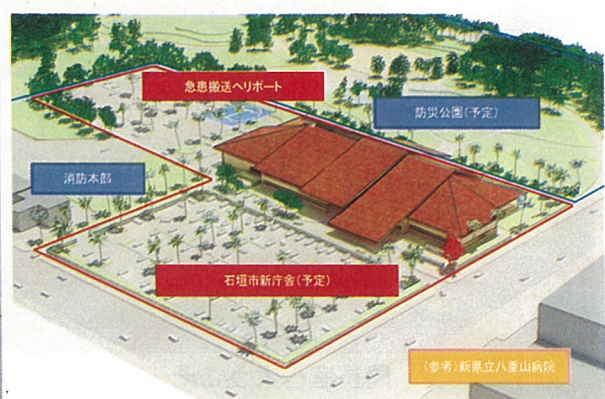
★地域と連携 ～まちづくりに貢献する国有財産～

地域と連携した、国公有財産の最適利用「エリアマネジメント」の取組みを進めており、5月には運動広場（名護市）、6月には産業支援住宅（東村）の整備のため、国有財産を売却しました。

また、浦添市の公務員宿舎敷地を保育施設用地や災害拠点病院用地として活用することや、旧空港跡地を石垣市の新庁舎用地などで活用することを決定するなど、地域のニーズに応じた国有財産の有効活用を図ることで、まちづくりに積極的に貢献しています。



名護市 国有地の売買契約調印式



石垣市 石垣市新庁舎（イメージ図）

★那覇空港の農産物等輸出拠点化の検討

5月に策定された政府の「農林水産業の輸出力強化戦略」において、那覇空港の国際物流ハブ化に向けた構想を検討することが盛り込まれました。農林水産省を中心に検討が進められており、当局においても、この機会に沖縄産農林水産物の一層の輸出促進を図るため、沖縄関係者による協議会の開催等を通じて検討を進めています。



「輸出力強化戦略」沖縄ブロック説明会



沖縄地域農林水産物等輸出促進協議会

★子ども見学デーを初開催

8月3日、子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会を設けるとともに、行政の仕事に関心を持ってもらい、理解を深めてもらうことを目的として「子ども見学デー～夏休み、総合事務局でまなぶ、あそぶ！～」を開催しました。

一日こども局長、防災について学ぶ、お金の働きについて学ぶ、牛の乳しぼり体験など22の企画を催し、567名の皆様にお越しいただきました。



局長室へようこそ！



省エネ教室

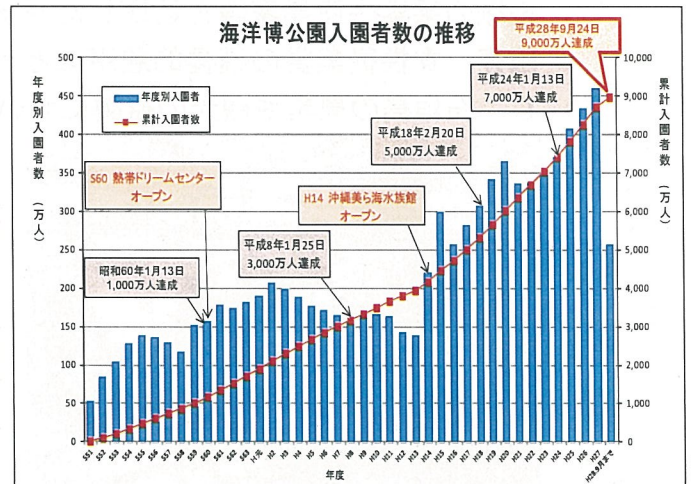
★海洋博公園 入園者累計9,000万人達成！

海洋博公園は昭和51年8月1日の開園以来41年目を迎え、この度、平成28年9月24日（土）に入園者累計9,000万人を達成しました。

9,000万人目の入園者は、研修の一環で同僚らと沖縄を訪れたタイ人の女性の観光客の方で、9,000万人目の認定証と記念品を贈呈しました。



9,000万人目の入園者と関係者で記念撮影



★沖縄県タクシー運賃改定

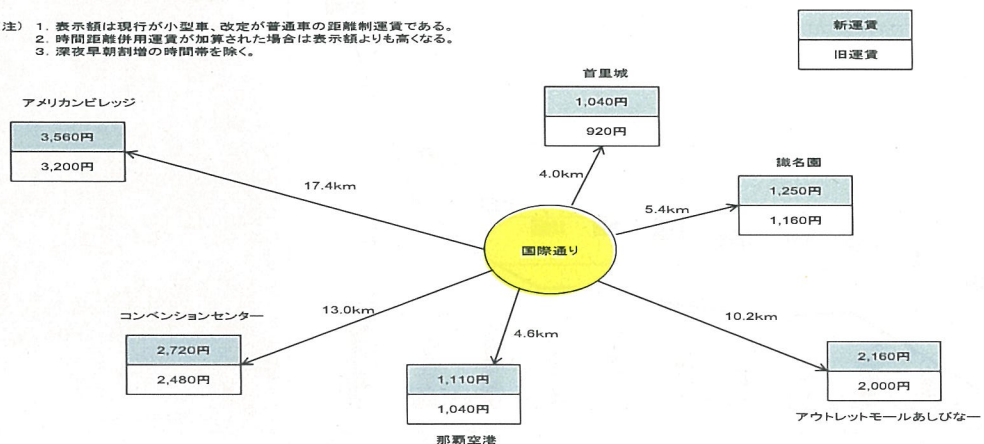
沖縄本島地区では9年ぶり（11月1日）、離島地区では8年ぶり（10月1日）にタクシーの運賃が改定されました。

併せて、タクシーの車種を「中型車」及び「小型車」と区分していたものを「普通車」に統合しました。

※初乗り運賃（上限）は、本島地区で「小型車500円」→「普通車550円」、離島地区で「小型車430円」→「普通車460円」になりました。

新旧上限運賃の比較例（沖縄本島地区）

（注）1. 表示額は現行が小型車、改定が普通車の距離制運賃である。
2. 時間距離併用運賃が加算された場合は表示額よりも高くなる。
3. 深夜早朝割増の時間帯を除く。



★伊盛牧場が農林水産祭で天皇杯を受賞

農林水産省と（公財）日本農林漁業振興会の共催による平成 28 年度（第 55 回）農林水産祭において、石垣市で酪農を営む伊盛牧場が、11 月 23 日に最高賞の天皇杯（畜産部門）を受賞されました。

伊盛牧場では、暑熱に強い牛群改良や粗飼料の完全自給に取り組むとともに、地域の果実生産農家等と連携したジェラート生産、直営店や新石垣空港内での販売、女性従業員の積極的雇用など、地域社会と密接に結び付いた経営を展開し、石垣島の農業や観光の振興に大いに貢献されています。



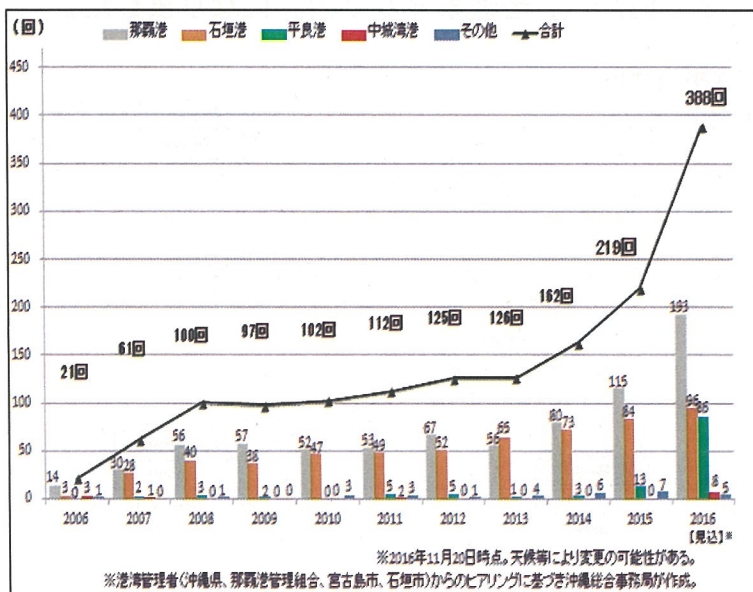
代表取締役の伊盛米俊氏と奥様



地域の特産品を活用したジェラート

★沖縄県内におけるクルーズ船の寄港回数が大幅に増加

沖縄へのクルーズ船の寄港は、2016 年 388 回（前年比 1.77 倍：11 月 20 日現在）と過去最多の見込み。そのうち那覇港は 193 回（前年比 1.68 倍）、石垣港は 96 回（前年比 1.14 倍）、平良港は 86 回（前年比 6.61 倍）、各港とも過去最多の寄港見込み。



写真提供：那覇港管理組合



オペーション・オブ・ザ・シーズ（16万トン級）
那覇港初寄港及び歓迎式典（2016年10月31日）
写真提供：那覇港管理組合